

環境と経済が調和した持続可能な 環境モデル都市をめざして

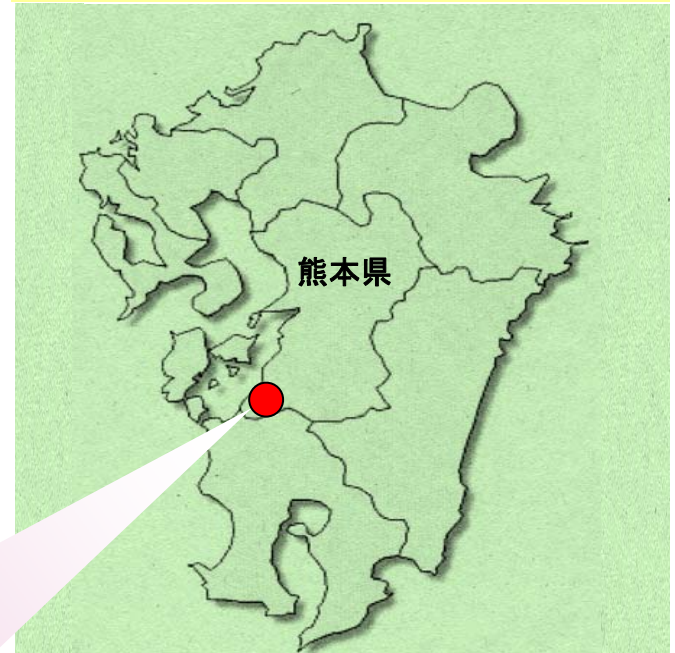


熊本県水俣市

水俣市の概要



熊本県の最南端
鹿児島県との県境に位置
面積 162.87km²
人口 約28,800人
世帯 約12,000世帯



水俣川が一本の水系で完結する、
海、山、川の自然豊かな小都市



水俣市



水俣市の取り組み



市民が主体となって行うごみの22分別

環境モデル都市としての位置づけ

～ 環境と経済が調和した持続可能な小規模自治体モデルの提案 ～

温室効果ガスの現状
(2005年排出量：238,647トン)

○近年の動向 (2000年→2003年)

排出量 → 微増

- ・民生部門 → 増加
- ・廃棄物部門 → 半減
- ・産業部門・交通部門 → 横ばい

吸収量 → 微減

温室効果ガスの削減目標

基準年
2005年

2020年
-32.7%

2050年
-50.1%

取り組みの4分野

- A：環境配慮型暮らしの実践**
(民生分野)
- B：環境にこだわった産業づくり**
(産業分野)
- C：自然と共生する環境保全型都市づくり**
(自然環境保全分野)
- D：環境学習都市づくり**
(環境意識の啓発分野)

フォローアップ

- ★アクションプランに基づく推進・進捗管理
- ★数値管理/排出状況調査表の作成

市民・企業・行政が連携

A: 環境配慮型暮らしの実践

① ごみの減量・分別リサイクルの推進

- ・ 現在は住民協働による22分別
(資源化率 40%→ 90%)



② 地域全体丸ごとISOのまちづくり

- ・ 事業所版、家庭版、学校版、幼稚園・保育園版、旅館・ホテル版等の“水俣オリジナル”ISOの推進



③ コミュニティバスと自転車のまちづくり

④ エコショップ認定・環境マイスター認定

⑤ 環境配慮型暮らしの支援



B: 環境にこだわった産業づくり

① 事業所版環境ISOの推進

② 地域資源を活用したバイオマス エネルギーの創出

- ・ 竹、柑橘類の搾りかす等をバイオエタノール化など

③ 安心安全な農林水産物づくり

- ・ 農産物の地産地消の推進など

④ 第2エコ産業団地開発

⑤ 新エネルギーの積極的な活用

- ・ 太陽光発電、風力発電等



C: 自然と共生する環境保全型都市づくり

① 市民の森・海藻の森づくり

- ・ 森林の育成、管理
- ・ 海藻の森づくり
- ・ ビオトープの創造



② 市民の憩いの場・公園整備

- ・ 太陽光発電を利用した街灯の整備
- ・ 並木の再生等



③ エコハウス集落づくり

- ・ 環境負荷の少ない住宅化等



D: 環境学習都市づくり

① みなまた環境大学

- ・ 現地で学ぶセミナー等

② みなまた環境塾

- ・ 持続可能な資源循環型社会の構築に貢献できる人材等の育成

③ 村丸ごと生活博物館の展開

- ・ 無駄のない暮らし等の体験学習の場

④ 国際環境協力事業

- ・ 海外研修生の受入れ等

⑤ 水俣病資料館などの環境学習の 拠点整備



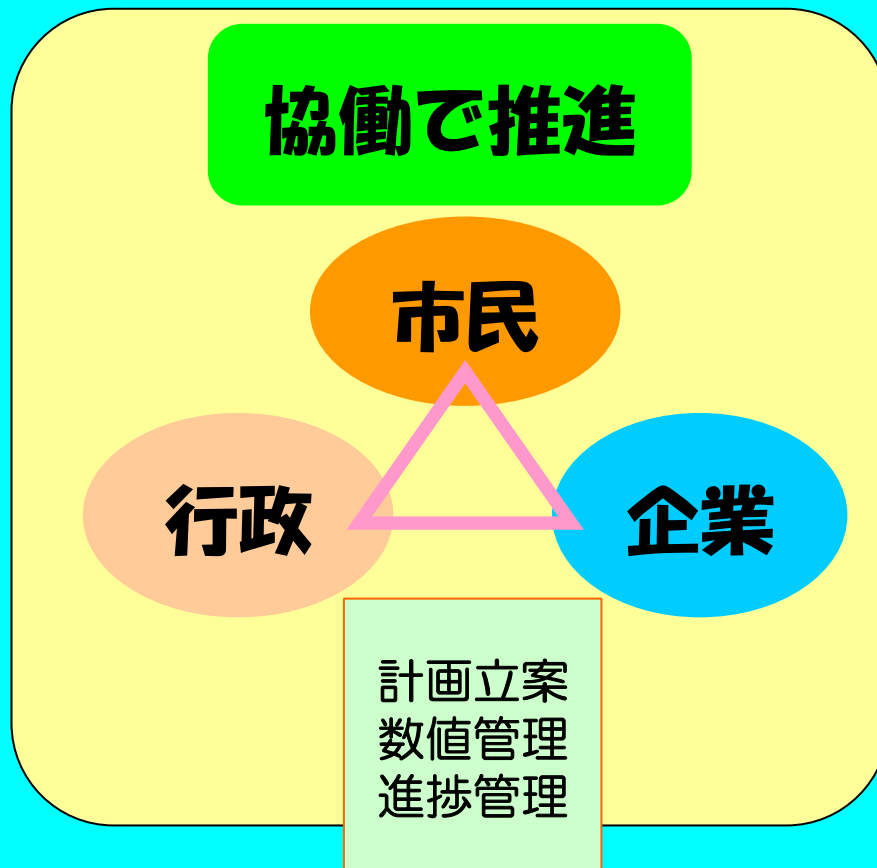
～ 環境モデル都市 実現に向けて ～

**A 環境配慮型
暮らしの実
践**

**B 環境にこだ
わった産業
づくり**

**C 自然と共生
する環境保
全型都市づ
くり**

**D 環境学習都
市づくり**



温室効果ガスの削減 ↔ 地域の活力の創出
「環境」と「経済」が調和した持続可能な地域社会の形成

